

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 日鉄鉱業株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒100-8377 東京都千代田区丸の内二丁目3番2号(郵船ビル6階)	
本票作成	部署名：生産課生産係				
主たる業種	分類コード	05	業種名：鉱業，採石業，砂利採取業		
事業の概要	石灰石の採掘および販売、タンカル製造販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	井倉鉱業所		岡山県新見市井倉527番地の1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5)年度排出量		目標年度(令和6年度)	
	8,007 t CO ₂	6,765 t CO ₂		7,606 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和5)年度排出量	
	①	井倉鉱業所		6,765 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和2年度 ～ 令和6年度 (5箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績		目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	16.6 %		5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 石灰石生産量	原単位当たり排出量			
		基準年度	(5)年度	目標年度	
		9.601 t CO ₂ /(千t)	8.012 t CO ₂ /(千t)	9.121 t CO ₂ /(千t)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】 環境マネジメントシステム (ISO14001) により使用エネルギーの管理を行っている。					

【推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に基づく省エネルギー推進体制を整備 ・社内にてエネルギー管理統括者、エネルギー企画推進者、エネルギー管理者を選任し、省エネルギーを推進している。
--

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
井倉鋳業所	<p>(令和5年度実施分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 切羽運搬道路を適宜見直し、ダンプ燃料使用量削減に努めた。 2. 生産量に合わせて重機稼働時間、台数を調整し、燃料使用量削減に努めた。 3. プラントは適正な負荷で生産を行い、使用電力原単位削減に努めた。 4. 鉄片除去機を永久磁石へと更新することで電力を使用しない設備とし、使用電力原単位削減に努めた。 5. 高圧変圧器を高効率機器へと更新し、使用電力原単位削減に努めた。 6. コンプレッサーを一定速機からインバータ機へと更新し、使用電力原単位削減に努めた。 <p>(今後実施予定分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 切羽の運搬道路を見直し、省エネ運転に努める。 2. 適正な負荷でプラント生産を行う。 3. 更新時期になった照明機器は、可能な限りLEDに切り替える。 4. 使用電力量が多いタンカル設備の粉碎機の整備を行うことで、破碎効率を回復させ、使用電力量を削減する。 5. 過剰使用している設備の適正負荷を見極めて運転する。 6. 更新機器については、可能な限り高効率化を進める。 7. 工業用水、圧縮空気等の漏れについては日常点検を実施する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--